

2016年度(平成28年度)

新シニア育成講座

開講の募集について(11月募集開始分)

募集概要(各科目共通事項)

受講資格	産業カウンセラー資格を有し、学びを継続しながら今後産業カウンセラーとして実践活動することを目指し能力向上に意欲を持って取り組める者。 協会に資格登録をしている会員であること。
募集期間	2016年11月17日(木)～2016年11月27日(日) ※先着順ではありません。応募者多数の場合は抽選となります。 ※定員に満たない場合は募集期間を延長します。 延長は協会本部ホームページの記載の確認もしくはお問い合わせください。
申込方法	①会員マイページから、またはメールでの申し込みとなります。 郵送・FAXでの申し込みは原則として受け付けません。 申込先は開催を主催する本部または支部になります。 なお申込書式は協会ホームページからダウンロードしてください。 http://www.counselor.or.jp/course/tabid/138/Default.aspx ②受講確認メールを受信後に、振込先へ受講料を振り込んでください。 ③受講料の入金を確認した時点で申し込み完了メールを発信し、受講が確定します。
申込先	講座によって申込先が異なりますので各科目の申込先をご覧ください。
振込先	受講確認メールに記載されます。ただし講座によっては振込先通知前に、再度受講の条件について了承の確認をさせていただく場合があります。
キャンセル	受講料入金確認をもって受講申込み完了となります。キャンセルについては3月号別冊②もしくは協会本部ホームページに掲載している新シニア育成講座の受講約款をご参照ください。 なお、キャンセル・欠席された場合、講座当日以降に配布されるレジュメ・資料の配付はございません。
受講条件	次の条件に満たない場合は受講をお断りする場合があります。 ・協会とメールの送受信ができること。 レポート等のやりとりのため、データファイルの送受信可能なアドレスをご用意ください。 (ケータイ・スマホのみは不可) ・期日までに受講申込みおよび入金が完了されていること。 ・事前学習で必須に指定されている図書については読了していること。 ・事前課題(設定科目の場合)の作業が講座の開始前に指定どおり完了していること。 ・守秘義務に関する誓約書に署名し受講前に提出していること。
修了認定条件	新シニア育成講座では各科目とも、実習・グループ討議を非常に重要視していますので、全日程・全時間の連続した出席が必須となります。 事前課題について期日までの事前提出もしくは当日の持参(設定科目の場合)、講座への連続した全時間の出席、講座の到達目標の修得、修了レポートの完了をもって修了となります。 前述の条件を満たさない場合、または講師による最終的な評価が一定の基準に達していない場合は未修了となります。その場合、当該科目の単位取得のためには再受講が必要となります。
守秘義務の遵守について	新シニア育成講座では実習やグループ討議において受講者の自己開示がなされたり実際のケースを扱う場合があり、その内容を講座外で公表することは禁止します。また各科目の講座内容はすべて日本産業カウンセラー協会の著作物であり、写真撮影、録画、録音およびWEB、SNS、Facebook、Twitter等への記載・転載、さらに二次利用は禁止します。安全な場を確保するため、守秘義務に関する誓約書に署名捺印の上、ご提出いただきます。 なお受講時に許可無く撮影、録音された場合は、記録媒体を回収の上で直ちにご退出いただき、当該科目は未修了となります。

その他	すでにシニア産業カウンセラー資格をお持ちの方でも受講は可能です。 ご不明な点は協会本部 育成・研修部・シニア講座担当者（電話：03-3438-4568）までお問い合わせください。
資格登録制度	1日6時間の科目については、出席1日あたり5ポイント、6時間を超える科目は7ポイントが付与されます。

北関東支部開催分（北関東支部へお申し込みください）

募集概要（1）

講座名	科目No.2：アサーション
講師	上田 敬（株式会社 CDP サポート 代表）
時間数／単位数	6時間（講義3、グループ討議3）（自学習3時間程度）／1単位
日時・場所	2017年1月28日（土）・1日間 埼玉県県民健康センター（さいたま市浦和区仲町3-5-1） 9:30開場、10:00開始、17:00終了（昼食1時間）
定員・費用	30名（最少催行人数：10名） 16,200円（税込）
申込先	WEB申込みまたは北関東支部（kenshu@jica-saitama.org）
講座概要および目的	講座での学習は以下の3点を学ぶことを目的とする。 1. アサーションの概要を知る。 2. 産業カウンセラーとして、自分の自己表現についての理解を深める。 3. 産業カウンセラーとして、アサーションをどのように活かすかの指針を得ることで、今後の継続学習に活かす。
到達目標	自分の自己表現をアサーションの一論の枠組みで理解し、クライアントの支援に活かすことが出来るようになる。
事前学習	1. 別途指定する課題図書を読んでアサーションの概要を理解しておくこと。 2. 上記を理解した上で、自分の仕事やカウンセリング場面での非主張的表現、攻撃的表現の事例を作成すること。以下の2項目を配布したシートに記入し講座に持参する。 ・場面や状況、及び自分が行った表現内容（せりふ） ・その時の自分の心理（気持ち、考え）
修了条件	1. 事前課題を当日提出する。 2. 修了レポート 講座終了時に出題されるテーマについて3000字程度にまとめ、指定日までに提出する。 3. 参加態度：グループ学習でのアサーティブな態度・自己表現 リーダーシップとフォロワーシップ（適切な役割行動）

神奈川支部開催分（神奈川支部へお申し込みください）

募集概要（2）

講座名	科目No.18：ファシリテーションとグループ・ワークの実践的理解
講師	渡邊 忠（元・文教大学教授、協会シニア・アドバイザー）
時間数／単位数	12時間（講義2、実習9、グループ討議1）（自学習5時間程度）／2単位
日時・場所	2017年2月4日（土）、5日（日）・2日間 神奈川支部研修室（横浜市中区桜木町3-8 横浜塩業ビル） 9:30開場、10:00開始、17:00終了（昼食1時間）
定員・費用	18名（最少催行人数：10名） 31,320円（税込）
申込先	WEB申し込みにて会員マイページよりお申し込みください。

講座概要および目的	職場集団におけるコミュニケーションを質的量的にオープンでスムーズなものにし、タテヨコの間人間関係を信頼感に基づく協働的なものにするには、メンタルヘルス上あるいはキャリア開発上の問題の発生予防や改善につながる。企業現場からは、そのための集合研修（OfJT）あるいは実際の職場のミーティング等（OJT）で実施する際に、産業カウンセラーがその支援的役割（ファシリテーター）を担うことが期待されている。 本講座では、そのためのスキルであるグループワークおよびそのファシリテーション法について実習を通じて体験的に習得することを目的とする。
到達目標	グループワークの基本的理論、実施上の留意点、ファシリテーションの理論とスキルを知識として理解し、実際にグループワークを効果的に実施できることを目指す。
事前学習	1. 別途指定する課題図書を読了すること。 2. 事前に配布する資料について読み込んでくること。
修了条件	修了レポート 講座終了時に出题されるテーマについて2000字程度にまとめ、指定日までに提出する。
その他	1. 受講者は事前にベシック・エンカウンター・グループ（1回18時間以上）を体験していることが望ましい。（当協会主催のものでなくて構わない） 2. 本講座においては率直で積極的な「自己開示」が必要になる。また発言内容の守秘義務を負うことにもなるので、その点を十分に了承した上で講座に臨むこと。

中部支部開催分（中部支部へお申し込みください）

募集概要（3）

講座名	科目No.13：産業カウンセラーとしての自己理解を深める （ベシック・エンカウンター・グループ体験）
講師	渡邊 忠（元・文教大学教授、協会シニア・アドバイザー） 水野 行範（羽衣国際大学非常勤講師、臨床教育学博士）
時間数／単位数	18時間（実習18時間）／3単位
日時・場所	2017年1月21日（土）、22日（日）・2日間 中部支部会員ホール（名古屋市東区葵） 8:30開場、9:00開始、19:00終了（昼食1時間）
定員・費用	10名（最少催行人数：6名） 46,440円（税込）
申込先	WEB申し込みにて会員マイページよりお申し込みください。
講座概要および目的	産業カウンセラーとして自己と他者の体験過程（感情、認知・価値、行動傾向）の理解を深め、ロジャーズのいう3つの基本的態度および人間尊重の基本的姿勢を培うことを目的として、2日間（8セッション）のベシック・エンカウンター・グループを体験する。
到達目標	産業カウンセラーとしての自己理解・自己受容の能力、他者理解・他者受容の能力、自分を相対視（客観視）する能力、グループ内で信頼関係を築く能力を培い、基本的な人間観、態度を体現できるようになることを目指す。
事前学習	特に事前学習の必要は無いが、以下の点について留意すること。 ①自己の体験過程の率直で積極的な「自己開示」が必要になる。また発言内容の守秘義務を負うことにもなるので、その点に十分留意し了承すること。 ②受講時に心理治療、カウンセリングを受けている方、あるいはその必要がある方は、治療者、カウンセラーにベシック・エンカウンター・グループに参加することを説明し、承諾を受けて参加すること。承諾が得られない場合は、受講できない場合がある。
修了条件	修了レポートを3000字程度にまとめ、受講後2週間以内に提出する。テーマは講座終了時に出题する。
その他	次の図書は絶版であるが、図書館等で読んでおくことが望ましい。 カール・R・ロジャーズ著、畠瀬稔・直子訳『エンカウンター・グループ—人間信頼の原点を求めて』（創元社）

募集概要（4）

講座名	科目No.18：ファシリテーションとグループ・ワークの実践的理解
講師	渡邊 忠（元・文教大学教授、協会シニア・アドバイザー）

時間数/単位数	12時間（講義2、実習9、グループ討議1）（自学習5時間程度）/2単位
日時・場所	2017年2月11日（土・祝）、12日（日）・2日間 中部支部会員ホール（名古屋市東区葵） 9:30開場、10:00開始、17:00終了（昼食1時間）
定員・費用	18名（最少催行人数：10名） 31,320円（税込）
申込先	WEB申し込みにて会員マイページよりお申し込みください。
講座概要および目的	職場集団におけるコミュニケーションを質的量的にオープンでスムーズなものにし、タテヨコの間人間関係を信頼感に基づく協動的なものにすることは、メンタルヘルス上あるいはキャリア開発上の問題の発生予防や改善につながる。企業現場からは、そのための集合研修（OfJT）あるいは実際の職場のミーティング等（OJT）で実施する際に、産業カウンセラーがその支援的役割（ファシリテーター）を担うことが期待されている。 本講座では、そのためのスキルであるグループワークおよびそのファシリテーション法について実習を通じて体験的に習得することを目的とする。
到達目標	グループワークの基本的理論、実施上の留意点、ファシリテーションの理論とスキルを知識として理解し、実際にグループワークを効果的に実施できることを目指す。
事前学習	1. 別途指定する課題図書を読了すること。 2. 事前に配布する資料について読み込んでくること。
修了条件	修了レポート 講座終了時に出题されるテーマについて2000字程度にまとめ、指定日までに提出する。
その他	1. 受講者は事前にバイシク・エンカウンター・グループ（1回18時間以上）を体験していることが望ましい。（当協会主催のものでなくて構わない） 2. 本講座においては率直で積極的な「自己開示」が必要になる。また発言内容の守秘義務を負うことにもなるので、その点を十分に了承した上で講座に臨むこと。

関西支部開催分（関西支部へお申し込みください）

募集概要（5）

講座名	科目No.19：教育研修指導法の実践的理解
講師	小野村 英敏（株式会社アイティ・アシスト 代表取締役会長）
時間数/単位数	6時間（講義2、グループ討議0.5、実習3.5）（自学習3時間程度）/1単位
日時・場所	2017年2月25日（土）・1日間 関西支部研修センター（中央区本町1-4-8 エスリードビル本町7階） 9:30開場、10:00開始、17:00終了（昼食1時間）
定員・費用	18名 16,200円（税込）
申込先	WEB申し込みにて会員マイページよりお申し込みください。
講座概要および目的	産業カウンセラーは企業内、組織内において、さまざまな形での教育・研修等を実施することになる。効果的な教育・研修のためには、教育・研修の目的、推進方法、教育指導の流れ、教育マテリアルの作成方法と注意点、効果的なプレゼンテーション、そして評価方法に熟知する必要がある。この講座では、それらに関する一連の知識と基本的な考え、態度、注意点を習得する。
到達目標	企業・組織内で実施される教育・研修に必要となる教育・研修の具体的なノウハウを獲得する。特に教育・研修の目的を明示した上で教育・研修の推進方法、教育指導の流れを理解し、効果的な教育マテリアルの作成と教育・研修の実施、並びにその評価方法を習得する。
事前学習	別途指定するテキスト等を参照しながら、講座で使用する「プレゼンテーション資料」（10ページ程度）を作成する。プレゼンのテーマは別途指定する。
修了条件	1. 受講1週間前までに「プレゼンテーション資料」を提出する。 2. 講座終了後「プレゼンテーション資料」を見直して修正したものを提出する。 3. 修了レポート 講座終了時に出题されるテーマについて3000字程度にまとめ、指定日までに提出する。
その他	企業・組織内で実施される教育を受講したことがあり、現在の企業・組織での教育のあり方に疑問や改善案を持っていることが望ましい。